

平成 28 年度 本部事業報告

社会福祉法人 日野青い鳥福祉会
法人本部

平成 28 年には、社会福祉法が改正され事業の透明性、地域貢献が求められるようになり、法人の責務が重くなってきている。

一方現場としてはさらに利用者の高齢化、親の高齢化という大きな問題が差し迫っている。

こうした中で、法人としてはこれまでの事業展開を振り返って、今後の法人の目指すべき方向性を探っていくために、中期計画を策定し、今後の事業の在り方を見通し、着実に進められるように努めた。

1. 中期計画の策定の目的

平成 29 年度から平成 31 年度までの 3 か年の中期計画を策定に向けて、策定委員メンバー 8 名を選出し検討に入った。

法人の事業が多種となってきており、運営面や、財政面での課題点をそれぞれで解決するのではなく、共通理解のもとに目指す方向を決め、協力して取り組んでいくことを中期計画策定の目的と定めた。

2. 本部機能の強化

現場の声を法人運営に反映させることで、支援の質を向上させるとともに、働きやすい職場を作ることに寄与する。そのために会議の枠組みを整えて主任会議を新たに設けた。また、27 年度までの定例会を管理者会議に変更した。

各層の会議が有機的に作用するように各会議の機能及び配慮事項が、現実的に展開し施設運営の一つの機関として節目を担っていくことが、次年度の課題となる。

また、引き続き、事業所の施設事務を本部に集中化することにより、事務の省力化と効率化を図る。さらに支援現場の実態から、現場事務にも踏み込んで業務分担のバランスを修正し協力体制を模索する。

3. 職員のスキルアップを図る

前年度引き続いて、人材育成とサービスの質の向上のためにキャリアパス要件の研修や職員の希望を組み入れた階層別の研修計画を作成し、それに添っての受講をすすめた。

また、今後は内部研修の充実及び人材育成の視点で外部実習生等の受け入れ等も具体的な段階に入ってきた。

4. 設備の整備・修繕

- ・平成 29 年度にあおいとり日野（東平山）の外装改修工事を実施予定(費用約 700 万円)の計画を立てた。
 - ・上田の建物については、外階段の塗装と内装工事を 80 万円かけて実施した。
 - ・修繕費積立金として 300 万円積み立てた。

5. 生活介護の拠点づくり及びケアホームの新設

- ・利用者の高齢化、支援活動の多様化等を見据えた新たな展開を目指し、情報収集を図った。
- ・施設整備積立金として 700 万円積み立てた。

6. 成年後見制度

- ・親の会との連携でソーシャルネットワーク南のかぜによる「市民後見人についての勉強会」を実施し、個々のニーズに合った支援を深めることになった。

7. 地域公益活動

- ・東京都社会福祉協議会 東京都地域公益活動推進協議会 広域連携事業「はたらくサポートとうきょう」に参加申し込みをした。
- ・毎週月曜日 10:00~12:00 あおいとり日野（平山）：知的障がいの女性に清掃、厨房補助等に仕事の提供を実施し現在も継続中。